

柏崎刈羽原子力発電所5号炉
審査会合における指摘事項の回答
(耐震安全性評価)

2019年8月20日
東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所5号炉 審査会合における指摘事項の回答一覧表

No.	指摘事項	回答
17-10 耐震安全性評価 (2019年6月20日 第17回審査会合)	・流れ加速型腐食 炭素鋼配管の流れ加速型腐食について、原子炉格納容器内の配管選定の考え方が、過去のPLMの考え方（2F-4等）と異なっているように見受けられるので、評価対象の選定の考え方から整理して説明すること。	P.2

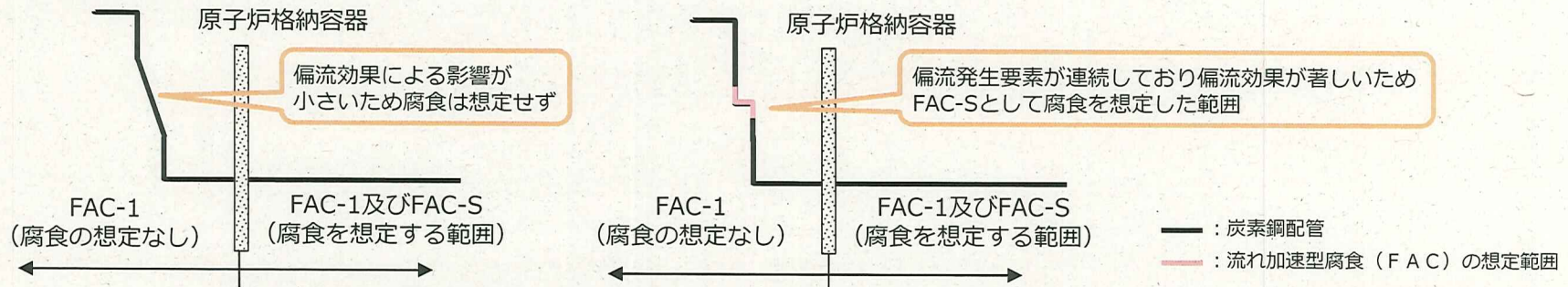
○流れ加速型腐食（FAC）における評価対象ラインの抽出方法

- 冷温停止の維持に必要な機器のうち，流れ加速型腐食（FAC）の想定される炭素鋼配管について，「発電用原子力設備規格 配管減肉管理に関する技術規格（JSME S NH1-2006）」に基づき評価対象ラインを抽出する。
- 具体的には，流れ加速型腐食（FAC）発生の可能性が小さいとされているFAC-1管理範囲以外の箇所を含むラインを評価対象ラインとして選定した。

評価対象ライン	管理ランク	備考
炭素鋼配管（給水系）	FAC-1	原子炉格納容器内
	FAC-1及びFAC-S	原子炉格納容器外

管理ランクFAC-S：偏流効果による流れ加速型腐食（FAC）発生の可能性が否定できない箇所

- ただし，過去の耐震安全性評価においては，配管形状により流れ加速型腐食（FAC）発生の可能性が小さいとされる管理ランクFAC-1の範囲においても，流れ加速型腐食（FAC）を想定して耐震安全性評価を実施した例もある。なお，今回の耐震安全性評価では当該解析条件は設定していない。



FAC-1範囲内でのFAC-Sの設定イメージ

TEPCO
